

## 看護基礎教育における災害看護のキー・コンピテンシーの検討

畑 吉節未  
中田 康夫

### 【目的】

多発する災害に的確に対応し被害を最小限に抑えるために、平時からの備えが不可欠である。「災害直から支援できる看護の基礎的知識を理解すること」を目的に、看護基礎教育課程に災害看護教育が導入されたが、適切で効果的な教育プログラムの開発が未だ十分になされておらず、その開発が喫緊の課題となっている。研究者は経験を学びに変える経験学習理論に基づくプログラムの開発(畑2008)に取り組んでおり、現在、被災時に活動した看護職の行動から身につけるべき能力(コンピテンシー)の検討を進めている。その一環として、災害看護に携わった看護師が記述した文献から特徴的な行動を抽出し検討したので報告する。

### 【方法】

「医学中央雑誌データベース Web」及び「最新看護索引 Web」データベース(収蔵:1995年~2008年)をデータベースとし「災害」「看護」をキーワードに収集した文献のうち、実践報告として災害時の看護職の行動を具体的に記述した35文献から行動を抽出しリスト化して意味単位で分析した。

### 【結果】

35文献から293項目の行動を得た(1文献平均8.4項目)。記述された看護行動を意味単位でカテゴリー化したところ11のカテゴリーが得られた。各カテゴリーは、〈患者の安全を守る〉〈傷病者に適切な治療とケアを提供する〉〈被災者へのこころのケアを行う〉〈死者・遺族へのケアを行う〉〈倫理規範に則って医療を提供する〉〈被災した病院を再編し機能させる〉〈継続的な看護を実施できるよう看護師の心を支え、働く環境を整える〉〈他職種と協働して活動する〉〈地域を支援する〉〈災害時の活動を評価できる仕組みをつくる〉〈平時から災害に備える〉である。なお、データベースで「災害看護」「コンピテンシー」をキーワードに検索したものの該当する文献は見あたらなかった。

### 【考察】

対象文献で報告された災害は、地震、風水害、雪害、火山噴火、列車事故、化学テロ、放射能/核と様々であり、報告者も管理者から現場で活動した者まで幅広く、災害時に看護師がとる行動の一定部分を浮き彫りにすることでできたものと考えている。抽出した行動のそれぞれからは、状況に対応した柔軟な思考や創造的な問題解決能力、倫理観に基づく行動など、高い成果をあげるために求められる能力が伺える。今後、こうした行動のデータベース化を進め、災害看護に求められる能力を明らかにしていく予定である。